

国際ワークショップ 巨大地震災害の軽減及び 安全都市の創造を目指して

2012年2月6-7日

参加大学：神戸大学・東北大学
清華大学・四川大学・シャークアラ大学
於：宮城県仙台市KKRホテル仙台(2階吾妻)

1995年に阪神・淡路大震災を経験した神戸大学では、都市安全研究センターを創設して、安全で安心な都市の創造を目指して研究してきた。2011年3月の東日本大震災を受け、巨大地震災害の軽減と安全都市の創造を考えるため、東日本大震災を経験した東北大学、2008年の四川地震の研究実績の高い清華大学・四川大学、2004年のスマトラ津波災害を経験したシャークアラ大学の参加のもとに国際ワークショップを開催する。なお本ワークショップは、神戸大学都市安全研究センターが文部科学省特別教育研究経費により実施している「都市災害軽減のための国際教育・支援システムの構築」の連携融合事業の都市防災研究の一環として実施するものである。

国際ワークショッププログラム(会議言語：英語、同時通訳無し)

2月6日

9:00-9:15 開会式 今村文彦 東北大学災害制御研究センター長、田中泰雄 神戸大学都市安全研究センター長

9:15-12:15 東日本大震災及び阪神・淡路大震災からの報告

越村俊一 東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター准教授

金子由芳 神戸大学国際協力研究科教授

北後明彦 神戸大学都市安全研究センター教授

田中泰雄 神戸大学都市安全研究センター教授

12:15-13:15 休憩

13:15-16:15 スマトラ津波災害及び四川地震からの報告

顧林生 清華大学都市計画設計研究院公共安全研究所所長(兼務ひょうご震災記念21世紀研究機構研究員)

龍恩深 四川大学災害復興管理学院 副院長

Muhammad Dirhamsyah シャークアラ大学TDMRC所長

T Said Mustafa アチエ州政経済発展部補佐官

16:30-18:00 巨大災害の軽減と安全都市の創造に関するパネル討論

2月7日 東北大学及び仙台市南部沿岸被災地の見学

主催：神戸大学都市安全研究センター
共催：東北大学災害制御研究センター、清華大学都市計画設計研究院、
四川大学災害復興管理学院、シャークアラ大学津波減災研究所(TDMRC)
参加問合せ先：神戸大学都市安全研究センター電話：078-803-6437、
Fax:078-803-6394、e-mail: rcuss-amc@research.kobe-u.ac.jp